



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月14日
東

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所
コード番号 3192 URL <http://www.shirohato.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 池上 勝
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部長（氏名） 服部 理基 (TEL) 075-693-4609
四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	2,004	17.4	68	△14.9	66	△5.0	40	2.1
26年8月期第2四半期	1,706	—	80	—	70	—	39	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年8月期第2四半期	10.63		10.48					
26年8月期第2四半期	12.41		—					

- (注) 1 平成26年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成26年8月期第2四半期末時点においては当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2 当社は平成25年11月29日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3 当社は第2四半期の業績開示を平成26年8月期より行っているため、平成26年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	2,125	—	640	—	30.1	—
26年8月期	1,991	—	611	—	30.7	—

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 640百万円 26年8月期 611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2 平成26年8月期の期末配当金6円00銭には、東証JASDAQ上場記念配当5円00銭が含まれております。

3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,161	15.7	149	△6.2	143	14.9	93	26.2	24.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年8月期2Q	3,838,100株	26年8月期	3,794,900株
27年8月期2Q	—株	26年8月期	—株
27年8月期2Q	3,818,361株	26年8月期2Q	3,200,000株

(注) 当社は平成25年11月29日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の兆しが見られるなか、個人消費は底堅く推移いたしましたが、海外景気の下振れが懸念される等、依然として先行き不透明な状況となっております。

また、その様な経済環境下、インナー業界は景況感が悪化しており、当社におきましても、このような外部要因に加え、広告戦略の試策の遅れや、季節商品のWEBサイトへの掲載が、急な冷え込みによる気候変動に間に合わなかったことなどにより苦戦しましたが、一方で、海外事業戦略を加速度的に推進するための海外事業部、ナイティ商品の開発部門であるブルーミングスタイル事業部の新設を行うなど、より強固な営業体制を構築するために組織再編を行ってまいりました。

この結果、第2四半期累計期間における売上高は2,004,239千円（前年同期比17.4%増）、営業利益は68,667千円（前年同期比14.9%減）、経常利益は66,673千円（前年同期比5.0%減）、四半期純利益は40,575千円（前年同期比2.1%増）となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、2,125,468千円となり、前事業年度末と比較して133,969千円の増加となりました。

流動資産は1,223,447千円となり、前事業年度末と比較して142,899千円の増加となりました。その主な要因は、商品の増加（前事業年度末より91,214千円増加）及び、現金及び預金の増加（前事業年度末より50,762千円増加）によるものであります。

固定資産は902,020千円となり、前事業年度末と比較して8,930千円の減少となりました。その主な要因は、機械及び装置（純額）の増加（前事業年度末より5,065千円増加）及びソフトウェア仮勘定の増加（前事業年度末より5,367千円増加）、減価償却による建物（純額）の減少（前事業年度末より10,770千円減少）、工具、器具及び備品（純額）の減少（前事業年度末より2,358千円減少）、ソフトウェアの減少（前事業年度末より3,792千円減少）及び、破産更生債権等の減少（前事業年度末より1,950千円減少）によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は1,484,922千円となり、前事業年度と比較して104,931千円の増加となりました。

流動負債は731,027千円となり、前事業年度末と比較して135,004千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加（前事業年度末より150,000千円増加）によるものであります。

固定負債は753,894千円となり、前事業年度末と比較して30,073千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末より26,666千円減少）によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は640,546千円となり、前事業年度末と比較して29,038千円の増加となりました。その主な要因は、新株予約権の権利行使による増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加（前事業年度末より5,616千円増加）したこと、並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が増加（前事業年度末より40,575千円増加）したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少（前事業年度末より22,769千円減少）したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ50,762千円増加し、206,821千円(前事業年度比32.5%増)となりました。当第2四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは 42,723千円の減少(前年同期比98,680千円の減少)となりました。

その主な要因は、税引前四半期純利益66,673千円、減価償却費22,314千円を計上したこと及び仕入債務の減少28,253千円、たな卸資産の増加92,414千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは 12,986千円の減少(前年同期比331千円の増加)となりました。

その主な要因は、有形固定資産の取得による支出5,900千円、システム開発や改良等の無形固定資産の取得による支出6,906千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは 106,473千円の増加(前年同期比135,745千円の増加)となりました。

その主な要因は、短期借入金の増加150,000千円、株式の発行による収入11,232千円によるもの及び長期借入金の返済による支出26,666千円、配当金の支払額による支出22,769千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成26年10月15日に公表した通期の業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(平成27年4月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,058	206,821
売掛金	272,026	258,911
商品	582,135	673,350
貯蔵品	13,302	14,501
前渡金	388	414
前払費用	7,536	12,816
繰延税金資産	26,931	31,616
未収入金	22,467	26,178
その他	2,684	1,634
貸倒引当金	△2,983	△2,798
流動資産合計	1,080,547	1,223,447
固定資産		
有形固定資産		
建物	464,669	464,669
減価償却累計額	△74,071	△84,842
建物(純額)	390,597	379,826
構築物	17,244	17,244
減価償却累計額	△7,361	△8,208
構築物(純額)	9,882	9,036
機械及び装置	3,446	9,136
減価償却累計額	△1,984	△2,609
機械及び装置(純額)	1,462	6,527
工具、器具及び備品	51,504	51,714
減価償却累計額	△37,689	△40,257
工具、器具及び備品(純額)	13,814	11,456
土地	394,082	394,082
リース資産	39,741	39,741
減価償却累計額	△19,284	△20,410
リース資産(純額)	20,457	19,331
有形固定資産合計	830,297	820,260
無形固定資産		
ソフトウェア	34,371	30,579
ソフトウェア仮勘定	—	5,367
無形固定資産合計	34,371	35,946
投資その他の資産		
保険積立金	30,503	30,503
従業員に対する長期貸付金	2,945	2,734
出資金	813	813
差入保証金	5,187	5,575
敷金	5,830	5,830
破産更生債権等	2,624	674
長期前払費用	306	165
貸倒引当金	△1,928	△481
投資その他の資産合計	46,282	45,813
固定資産合計	910,950	902,020
資産合計	1,991,498	2,125,468

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	116,532	128,672
買掛金	224,395	184,028
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	53,333	53,333
リース債務	4,058	4,108
未払金	98,131	109,177
未払費用	27,552	24,720
未払法人税等	18,191	32,475
未払消費税等	15,151	5,324
預り金	9,137	5,944
賞与引当金	21,978	24,634
返品調整引当金	357	373
ポイント引当金	3,739	4,482
その他	3,463	3,752
流動負債合計	596,022	731,027
固定負債		
長期借入金	640,000	613,333
リース債務	13,158	11,091
長期末払金	21,052	17,699
役員退職慰労引当金	108,921	110,814
資産除去債務	780	785
繰延税金負債	55	169
固定負債合計	783,967	753,894
負債合計	1,379,990	1,484,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,083	274,699
資本剰余金		
資本準備金	259,083	264,699
資本剰余金合計	259,083	264,699
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	81,842	99,648
利益剰余金合計	83,342	101,148
株主資本合計	611,508	640,546
純資産合計	611,508	640,546
負債純資産合計	1,991,498	2,125,468

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,706,902	2,004,239
売上原価	987,108	1,182,423
売上総利益	719,794	821,816
返品調整引当金繰入額	130	15
差引売上総利益	719,663	821,800
販売費及び一般管理費	638,943	753,132
営業利益	80,719	68,667
営業外収益		
受取利息	1	27
為替差益	134	986
債務勘定整理益	424	380
協賛金収入	462	757
助成金収入	120	125
雑収入	470	1,203
営業外収益合計	1,613	3,478
営業外費用		
支払利息	5,645	4,521
株式公開費用	3,333	—
コミットメントフィー	2,857	694
雑損失	319	256
営業外費用合計	12,155	5,472
経常利益	70,176	66,673
税引前四半期純利益	70,176	66,673
法人税、住民税及び事業税	30,293	30,669
法人税等調整額	157	△4,571
法人税等合計	30,450	26,098
四半期純利益	39,726	40,575

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	70,176	66,673
減価償却費	32,429	22,314
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,307	△1,631
受取利息及び受取配当金	△1	△27
支払利息	5,895	4,521
売上債権の増減額(△は増加)	△1,657	13,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59,540	△92,414
仕入債務の増減額(△は減少)	94,151	△28,253
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,200	2,656
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,811	1,893
ポイント引当金の増減額(△は減少)	373	743
返品調整引当金の増減額(△は減少)	130	15
未払金の増減額(△は減少)	△5,477	10,298
その他	△24,931	△21,997
小計	116,253	△21,843
利息及び配当金の受取額	1	27
利息の支払額	△6,635	△4,630
法人税等の支払額	△53,662	△16,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,957	△42,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△199	△5,900
無形固定資産の取得による支出	△10,895	△6,906
その他	△2,223	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,317	△12,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△426,666	△26,666
短期借入金の増減額(△は減少)	405,000	150,000
リース債務の返済による支出	△4,345	△2,017
割賦債務の返済による支出	△3,259	△3,305
株式の発行による収入	—	11,232
配当金の支払額	—	△22,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,272	106,473
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,367	50,762
現金及び現金同等物の期首残高	204,379	156,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,746	206,821

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。